

## 平成 28 年度 学内教育 GP プログラム事業経費計画書（継続型）

学 長 殿

申請者（プログラム代表者名）

氏名 学生支援室長

学生・キャリア支援センター

副センター長 作田 正明

（部局長等の承認）

私は下記の申請について了承します

職名 副学長

氏名 高崎 みどり

事業名称	「キャリアデザインプログラム」の浸透およびコンピテンシー評価プログラム「My Portfolio」の利用促進
取組代表者名 担当者名	学生・キャリア支援センター 副センター長 作田 正明 学生・キャリア支援センター センター長 副学長 高崎 みどり 学生・キャリア支援センター 准教授 中川 まり 学生・キャリア支援センター 特任講師 川端 由美子 学生・キャリア支援課 課長 富山 弘 学生・キャリア支援課 副課長 脇 紀夫
事業内容	<p><b>【事業の目的と背景】</b></p> <p>本事業は平成 24 年度～26 年度文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実整備事業（以下「産業界ニーズ」）」キャリア教育カリキュラム「キャリアデザインプログラム」の浸透と評価プログラム「My Portfolio」の利用促進を目的とします。</p> <p>「キャリアデザインプログラム」では、女性リーダーの育成を見据えた学生の就業力育成を目的として、「キャリアデザインプログラム科目」を開講し、その効果測定の方法として「コンピテンシー評価プログラム『My Portfolio』」を導入するという成果を挙げました。また、このプログラムは J-Win など産業界からの評価も得てきました。</p> <p>しかし「キャリアデザインプログラム報告書」（お茶の水女子大学キャリア支援センター 2013）によれば、事業終了後にも 3 つの課題として</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生の伸ばしたいコンピテンシーと基幹科目選択とのリンク</li> <li>2. 科目間の整合性と体系化</li> <li>3. コンピテンシー評価プログラムの浸透と利用促進</li> </ol> <p>が残され、現在もそのままとなっています。また基幹科目の履修割合も在籍者に対して約 20%と低い現状にあります。</p>

よって本事業では、「産業界ニーズ」終了後も継続的な就業力育成のために、

1. グローバルリーダーシップ研究所と連携して、どのキャリアデザインプログラム科目がどのような基礎力（コンピテンシー）を高めるのか学生にわかりやすく周知するとともに、履修実績と調査をふまえた基幹科目の再編を行います。

2. 「My Portfolio」が学生および教員にとって身近なインターフェースとなるようにシステム改修を行います。「My Portfolio」は就業力の基礎となる思考・行動特性「コンピテンシー」を測定・評価し、主観的に自己の基礎力を省察することに役立ちます。また本学には別に、グローバル人材育成推進事業「グローバル・コンピテンシー&パフォーマンス・ポートフォリオ」があり、学生の学修履歴や成績などの客観的な業績・成果を一覧化するシステムがあります。学生の育成には、二つの両輪となるシステムが揃って活用されることで、初めて十分な成果を発揮することができます。

なお本事業は、中期計画の28年度計画「キャリア教育の拡充」【K15】を実施するものであります。

**【実施内容】** 事業内容は次の通りです。

1. コンピテンシーと基幹科目とのリンクおよび科目間の整合性と体系化（グローバルリーダーシップ研究所と連携）

- ・学生からの「どの科目が何に役立つのかわからない」「科目間で内容に重複がある」などの意見を反映し、コンピテンシー（基礎力）と科目間の整合性および結びつきを体系化する。

- ・履修実績や調査ふまえ、コンピテンシーに対して不足する科目の増設・科目変更を検討・再編し、学生に周知および履修を促進する。

2. コンピテンシー評価プログラム「My Portfolio」のインターフェース向上に向けたシステム改修

- (1) 「My Portfolio」の再定義と利用促進

- ・さまざまな学生向けの教育プログラムが存在する中、「My Portfolio」の学内での位置づけを再定義した上で有識者も交えて具体的な活用方法の仕組みを再構築する。

- ・学生からは「知らない」「使ったことがない」などの声があることを反映して、マニュアル制作や小セミナーを実施する。

- (2) システム改修

- ・「履修学生と担当教員との結び付けが自動で行われないために不便」などの意見があるため、利用者の声を調査した上で「My Portfolio」のシステム評価を行い、システム改修を行う。

**【効果】**

本事業による直接効果は以下の2点です。

1. キャリアデザインプログラムについて学生の理解を促し、履修者を増やすことで、それぞれの能力や志の高さと、進路選択とのミスマッチを極力小さくできる。

2. キャリアデザインプログラムについての学生の満足度を高めて、学生が就職活動に自信をもって臨むことができるようになる。

	<p><b>【大学全体の波及効果】</b></p> <p>大学全体への波及効果は次の4点です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生が自律的にコンピテンシーを涵養し就業力の育成を実現できる。</li> <li>2. キャリア教育の取り組みが、今後の入学者となる高校生の進路決定に波及する。高校生の進路決定に大学のキャリア教育・就職支援は大きく影響しているが、ベネッセが高3生を対象に行った調査では、進路決定の参考にした第一位は「卒業後の進学・就職の実績」79.7%である。また高校生は、大学における就業力の育成に期待をしている（同調査によると、大学でしたいことの第一位は「将来の仕事や就職に役立つような力を身につけたい」97.8%）。</li> <li>3. 保護者が本学の学生支援活動に期待することの第一位が就職支援であるように（「平成26年度新入生の生活に関する調査」において86.6%）、大学のアカウンタビリティが問われる昨今、この責務を果たすことができる。</li> <li>4. キャリア教育は本学のミッションである女性リーダーの育成に重要な役割を果たすことができる。</li> </ol> <p><b>【支援期間後の見通し】</b> 支援期間後も、キャリアデザインプログラムの見直し（Plan）・実施（Do）・評価（Check）・改善（Action）を行うシステムを継続し、定着化することでプログラムを最適に保つことを見通しております。</p>
積算内訳	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンピテンシーと基幹科目とのリンク、科目間の整合性と体系化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット等製作・印刷費 @3000部 <u>15万円</u></li> </ul> </li> <li>2. コンピテンシー評価プログラム「My Portfolio」のシステム改修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「My Portfolio」のシステム評価および改修 <u>30万円</u></li> </ul> </li> </ol> <p>1～2に関する有識者から情報提供への謝金 <u>5万円</u> 計50万円</p>